

第3回滋賀県の脳卒中を考える会

SCRUM Seamless care support program for stroke
「脳卒中地域医療連携プロジェクト」

SCRUM(スクラム)とはラグビーの試合再開の際、選手が組みあうことであり、脳卒中治療において専門医およびかかりつけ医、患者が緊密な協力体制のもと、一体となって治療にあたることを表現しています。
英文の「Seamless care support program for stroke」とは、「脳卒中のためのシームレスな治療をサポートするプログラム」との意味であり、このプロジェクトが、脳卒中に対する地域医療連携をサポートするプログラムであることを表現しています。
日本脳卒中協会・大塚製薬共同事業プロジェクト

【日時】 2011年10月1日(土) 18:30～20:00

【会場】 ピアサ淡海 滋賀県立県民交流センター 3F 大会議室
〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 TEL 077-527-3315

—抗血栓療法的光と影—

● 情報提供 18:30～18:40

「抗血小板療法の最近の話題」 大塚製薬(株)学術部 田中裕子

● 開会の辞 ～SCRUMの方針～

松田 昌之 先生(日本脳卒中協会 滋賀県支部支部長)

● 講演 18:45～19:15

脳卒中診療を担う専門医、非専門医それぞれの考え

座長 松井 大 先生(大津赤十字病院 神経内科部長)
急性期の立場から

井上 卓郎 先生(湖東記念病院 脳神経外科主任部長)
かかりつけ医の立場から

橋本 進一 先生(彦根市 橋本医院院長)

● 特別講演 19:15～20:00

座長 園部 正信 先生(大津市民病院 神経内科部長)

「抗血栓療法のリスクとベネフィットー出血合併症の軽減策ー」

橋本 洋一郎 先生(熊本市市民病院 神経内科部長)

● 閉会の辞

野崎 和彦 先生(滋賀医科大学 脳神経外科学教授)

※日本医師会障害教育制度指定講習会に認定されております。

(単位:1.5単位 CC: 13 地域医療・50 吐血・下血・78 脳血管障害後遺症)

※講演会終了後、情報交換の場をご用意しております

*当日は、ご参加を頂いた確認の為、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。尚、ご提供頂きました個人情報は、講演会のご出席者の確認と連絡のために使用致します。個人情報は、主催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。また、弊社個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理致します。

共催:日本脳卒中協会滋賀県支部 大塚製薬株式会社 後援:滋賀県医師会